

高雄地区 歴史文化の視点3

## 21. 里山の景観と村々の社寺

### 【ストーリー】

高雄地区は、千種川と山に挟まれた平野が狭く、集落は洪水の被害を受けにくい、千種川が生み出した自然堤防上に営まれていた。江戸時代には、一村ごとに神社と寺が築かれ、山に寄り添う社寺景観、旧村落の信仰のよりどころとして築かれた社寺景観など、自然と調和した集落と里山の景観が保たれている。

高雄地区は、清流千種川と森の景色が融合した景観が素晴らしく、特に、神護寺跡周辺から南側を望む、千種川と山々の景観は絶景である。

さらに高雄橋とその周辺は新幹線の撮影スポットとしても著名であり、千種川のみさを体感できる地区となっている。



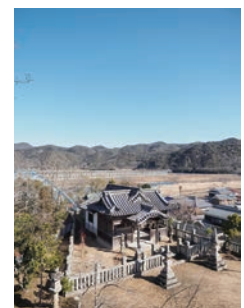
赤穂ふれあいの森からの眺望



大避神社 (中山)



八幡神社 (周世)



荒神社 (高雄)

